

竹の子だより

第103号 平成28年3月26日(土) 発行

発行責任者 坂井 正志

編集 明星会広報委員会

発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP <http://www.kanagawa-id.org/takenoko/>

事業 竹の子学園 竹の子ケアセンター パン工房ハッピー 竹の子ホーム 相談支援センターエール ハッピー・ONE・STEP

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



QRコード





新年度に向けて



総合施設長 坂井 正志

新年度に向けて明星会の各事業所の展望を述べたいと思います。竹の子学園では、平成二十五年に約十名の利用者の地域移行をはたし、定員を五十六名にしました。入所施設から地域のグループホームへ、という考え方は変わっていませんが、入所者の地域移行のためのグループホームを建てて地域移行を進めるのは、様々な事情で難しいと思います。グループホームが空いたときに、まず入所の利用者から優先して少しずつでも地域移行を進めていきたいと思えます。また、不幸な事故が続く、入所施設の根幹である「安心して生活をおくる」ことが揺らいでしまいました。職員一丸となって改善に励んでいきます。竹の子ケアセンターは、竹の子学園との併設の為、様々な不都合が報告されていきました。このたび、パン工房ハッピーの近くに物件が見つかったので移転の準備をしています。来年度には移転できる見通しです。また移転して軌道に乗った時には、定員の増加も考えていきます。パン工房ハッピーは、就労移行の利用者さんの就職が相次いで

理事会報告

【平成二十七年 第二回理事会】
が、平成二十七年七月十七日、竹の子学園ヴィーホール一階にて開催され、ヤマトビル購入について審議しました。

【平成二十七年 第二回監事監査】
が、平成二十七年九月二十二日、竹の子学園ヴィーホール二階にて開催されました。真壁監事、真田監事により平成二十七年の業務執行状況及び財産の状況について監査を行いました。

【平成二十七年 第三回理事会及び役員研修会】
が、平成二十七年十二月九日、竹の子学園ヴィーホール二階にて開催されました。第一部第三回理事会において、以下の議案について審議しました。

実施指導の指摘事項及び改善結果について報告し承認されました。

議題第二号 諸規程の改定について以下の規程の改定について承認されました。

- ・役員報酬に関する規程
- ・竹の子学園 障害者支援施設 運営規程
- ・竹の子学園 短期入所 運営規程
- ・竹の子学園 利用者預り金取扱規程
- ・相談支援センターエール

指定特定相談支援事業 運営規程
障害児支援事業 運営規程

一般相談支援事業（地域移行支援）運営規程
一般相談支援事業（地域定着支援）運営規程

また、以下の規程を新設しました。

- ・個人番号及び特定個人情報取扱規程
- 議題第三号 ヤマトビル購入について
- 第二回理事会以降、予定及び予算について変更があり、再度審議しました。

その他 監事監査報告等

第一部終了後、第二部役員研修会を開催しました。

テーマ『新社会福祉法で求められる社会福祉法人の責務と経営』

決まり、うれしい限りです。とは言っても、定員を埋めなければならぬので、利用のための実習を随時受け付けています。竹の子ホームは、九か所で運営を行っています。今のところ新たなホームを作る計画はありません。相談支援センターエールは、県西圏域ナビを受託して二年が経ち軌道に乗ってきました。また、相談員を三名配置して、計画相談を行っています。今後も地域の福祉の核となるよう励んでいきます。平成二十四年にスタートしたハッピー・ONE・STEPは四年目を迎えます。南足柄市、足柄上郡それぞれ登録者は十名を超え、常時五名以上の参加者があります。学習意欲の向上など明らかな成果が見え、今後も充実した内容での継続が求められています。平成二十八年度からの新しい事業として、放課後等デイサービスを始めます。竹の子ケアセンターの移転先の一階部分を放課後等デイサービスのスペースとして利用します。改装工事の関係で四月スタートとはいきませんが、整備でき次第スタートさせるつもりです。その時はお知らせします。今後とも社会福祉法人明星会をよろしく願います。

職員全体研修

平成二十八年二月十日に竹の子学園にて、第三十八回明星会職員全体研修を開催いたしました。

今回の研修では、高齢知的障害者への理解を深め、年齢を重ねた利用者さんに対して正しい知識を身に付け、一歩上の支援を目指していく事を目的としました。

研修内容は、社会福祉法人聖音会さまがみ野ホーム施設長の佐竹昇平様を講師に迎え「高齢知的障害者への支援について」講演をしていただきました。

さがみ野ホームは高齢知的障害者に特化した施設で、作業などを通じて利用者さんの認知症の予防に努めているそうです。作業を行わなくなってしまう事で認知症への進行に繋がりがやすす事を学び、作業をする時間は利用者さんの生活の中で重要な役割だと再認識しました。また、「高齢に伴い痛みの訴えが出来なくなる（感じにくくなる）」という事を知り、日常の中で利用者さんの小さな変化等に気付き見逃さない事が改めて大切だと感じました。緊急を要す場面は、いつ何処でも

起こりうる事であり、その時に落ち着いて行動する為の訓練（救急要請等）を行なっているとの話を聞きました。救命方法についても求められるスキルであるため、明星会の職員、誰もが出来るようにしておく事が大切だと感じました。

研修の最後に、亡くなられた利用者さんとの思い出の写真をまとめた映像を観ました。この映像を作る事で、職員は支援の一区切りを付ける事ができ、利用者さんと共に映像を観て故人を偲ぶ機会を設けているそうです。担当職員の思いのこもった内容の映像を観て、涙を流す職員もいました。

今後、明星会全体でも高齢化が進んでいく中で、支援と同時に介護に関しての知識や技術の向上を図るとともに、各支援員が感じた事や学んだ事を実践していきたいと思えます。

(府川)



圏域ナビ主催 語り合おう！ 分かりあおう！ 計画相談の意見交換会

平成二十八年十二月三日（木）マ

ロ二エにて、計画相談の意見交換会を圏域ナビ主催で実施しました。初めに、社会福祉法人唐池学園 貴志園 富岡貴生施設長より、①サービス等利用計画の現状②個別支援計画とサービス等利用計画の整合性について③神奈川県相談支援専門員人材育成ビジョンの3点についてご講義いただきました。その後、参加されたサービスマネジメント・行政職員・障害当事者・家族・相談支援専門員でグループを作り、計画相談が導入されて良かったこと、課題、要望などについて、ワールドカフェ方式で意見交換しています。お菓子や飲み物を召し上がっていただきながら肩肘張らずに話し合いをしたことで、時間の経過と共に緊張がほぐれ、リラックスした気分で意見交換ができたようです。貴重な意見があり、日頃は顔を合わすことのない立場の方とのグループワークは有意義な時間になったようです。今後も当事者

やその家族・行政・福祉関係者の意見交換会を開催してほしいという意見が多く聞かれました。（近藤）

（参加者の意見）立場で感じていることが違った。相談支援専門員とサービスマネジメント、高齢者福祉、教育、医療との連携が必須である。相談支援事業所は中立的な立場なので、サービス提供事業所に言えない家族の思いを相談できる。計画相談の手続きが簡略化できるといい。当事者の強みをどのように計画に結びつけるかが課題。相談支援専門員が家庭や事業所へと可能な限り出向きたいと思っても、計画相談の件数が多く、なかなか訪問できない。精神障害の方は、計画相談の制度を知らないことが多い。今日のように色々と話せる機会をこの地域で続けてほしい。





天気が良くて富士山が
とてもきれいだったよ。

いちご狩り
一泊旅行

あま〜いイチゴを
たくさん食べたよ!



竹の子学園



梅見

梅の良い香り〜。



冬のおもいで



日帰り研修
横浜へ

カップヌードル
ミュージアムで
オリジナルカップ
ラーメン作り!



中華街グループは
食べ歩き。



クリスマス会

ゲームで大盛り上がり!



サンドウィッチと
ケーキを食べたよ。



竹の子ケアセンター



書初めでは
中国語にも挑
戦!!



お正月

ゴルフの成
果を
発表しまし
た。



県西地区
グループホーム交流会



竹の子ホーム

毎年恒例となりました県西地区グループホーム交流会が2月6、7日に熱海の水葉亭で行われ、竹の子ホームでは利用者29名と職員6名合計35名で参加しました。今年はマイクロバス・現地集合・小田原駅集合の3組に分かれて行き、全員無事に着きました。水葉亭に着いたみなさんは、お風呂に入ったり、他の部屋を訪ねて話をするなどで過ごしました。宴会では食事やお酒、カラオケ大会で盛り上がりました。他のホームの職員や利用者さんと楽しんで交流を深めることが出来た2日間でした。(土橋)

パン工房ハッピー



パン作り
体験

ハッピーの利用者さんが
講師になり、地域の方
などたくさんの方に
参加して頂き、
とてもにぎわいました。

竹の子祭報告



平成27年度も地域の皆様とボランティアの皆様のご協力の下、盛大に竹の子祭を開催する事ができました。11月23日は連休の最終日と言う事と雨天予報が出ていましたが、天候に恵まれ、沢山の方に来場して頂きました。来場された方から「今年も楽しみにしていました。また皆さんの笑顔に会えるのが嬉しくて」と温かいお言葉を頂きました。このような行事で少しずつ地域の方に明星会を知ってもらう機会ができ、うれしく感じます。また今年の模擬店は12時過ぎには、ほぼ完売し、うれしい誤算となりました。楽しみにされていた方、すみませんでした。

今年よりも来年、来年よりも再来年と続けていき、地域の方やボランティアの方、明星会の利用者の方がいつまでも笑顔で楽しめる竹の子祭に繋がっていきたいと思います。ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。(廣澤)



ちいき・ふくし博

平成27年度ちいき・ふくし博が2月15日～19日に開催されました。南足柄市役所・アトリウムに15団体が利用者さんの作品を展示しました。目を奪われるほどの大作もあります。来場者も年々増えて場内の賑やかな場面が多くなってきました。竹の子ホームの利用者さんが実行委員賞を受賞して嬉しさもひとしおとなりました。(土橋)



あおぞらパーティー

あおぞらパーティーに参加した仲間達と、「夢・趣味・特技、恋愛、フリートーク」のテーマ別に分かれてグループワークを行ないました。それぞれ意見を出し合い、参加者同士でアドバイスしたり、自分の思う事を話したりと盛り上がっていました。

午後からは、お楽しみタイムで歌を聴いたり楽器の演奏を聴き楽しみました。(松本)

第33回

神奈川県障害福祉職員実践報告会

平成28年2月12日に神奈川県社会福祉会館にて開催された実践報告会に参加しました。

基調講演では、沖縄大学名誉教授・加藤彰彦氏に「当事者の生き方を見つめ、その人に寄り添うということ」をテーマに話を頂きました。

分科会では、平成27年8月に法人内の研究会での発表を経て、明星会から相談支援センターエールと竹の子ホームが代表として発表を行いました。



質疑応答では、たくさんの質問があり明星会の実践に興味を持って頂き「勉強になった」という感想を頂きました。日々の支援を報告することは、聞く側だけでなく、発表者側にとっても有意義な時間になりました。(奥津)

パラ駅伝 in TOKYO



出場した矢島一也さんのコメント
初開催、初出場、初チームで初優勝が出来て嬉しかったです！（中段左から3人が矢島さん）

2015年11月29日に駒沢公園で開催された第1回パラ駅伝 in TOKYO で竹の子ホームの矢島一也さんが所属する神奈川県チームが優勝しました。明星会には、仕事にスポーツと頑張る利用者さんが沢山います。これからもそんな皆さんを応援していきたいと思えます！（奥津）

パラ駅伝とは・・・

日本財団パラリンピックサポートセンター主催の障がいのある方と、健常者が一緒に1つのチームとなってゴールに向かってタスキをつなぐ駅伝です。



ありがとう善意の気持ち

▼寄付
読売センター小田原城北様
鈴鹿かまぼこ株式会社様

横谷仁子さんよりパン工房ハッピーのためにオリジナルで素敵なブラックボードを寄付していただきました！

【モニーク・チョークアート認定講師】
横谷 仁子さん（よこたに きみこ）
連絡先：090-4429-0208
看板製作やペット画製作を致します。
体験レッスンも随時受け付け中です。
プロコース資格取得レッスンも行っていますので興味のある方はお待ちしております。



退職ごあいさつ



竹の子学園
福山真理
地元を離れ一人暮らしを始めた私

でしたが、居場所をつくってくれたのは、利用者の皆様の笑顔や、「おはよう」「おかえり」等の温かい言葉でした。それは私の基本の心得ともなりました。また、ご家族、職員の方々のご指導により多くのことを学び、支えて頂いた八年間でした。皆様と出逢えたことを心から感謝しています。ありがとうございます。

竹の子学園



石飛信彦
この度、退職する事となりました。

四年間という短い期間ではございましたが、ご家族を始め、利用者様には大変お世話になりました。差別解消法施行等、これから障碍福祉分野は、更なる「質」が求められると思います。この過渡期ともいえる時期に、竹の子学園で学ばせて頂いた多くの事は私の糧となりました。本当にありがとうございます。

相談支援センターエール



近藤光伸
利用者様、ご家族様、関係者様、職員の方々に支えられ、あつという間の五年間でした。ありがとうございます。

明星会は皆さんの仲が良く、その連携力やネットワークの広さはとても勉強になりました。何かの折にお会いできると思うので、そのときはよろしく願いいたします。

新職員紹介



竹の子学園
市川喜久恵
はじめまして。一月から竹の子学園

の生活支援員になりました。初めての業種でまだ分からない事ばかりですが、利用者の方々と沢山触れ合い良き生活支援員になりたいと思います。他、ホームスタッフとして三浦圭子さん、豊田昌代さんが新しい仲間として加わりました。皆様よろしくお祈りいたします。

追悼

竹の子学園 野本豊さんがご逝去されました。ご冥福をお祈り致します。

編集後記

今年度からカラー印刷となり、とても見やすくなったかと思えますが皆様いかがでしたでしょうか。

今年の冬は暖冬ということもあり、早くから梅や桜が咲き始めました。皆様も春を探しにいきませんか？



（鈴木秀和）